

「瀬戸谷再発見」宝物を磨き上げる 交流・定住促進事業

平成23年 1月25日

静岡県藤枝市

瀬戸谷生き生きフォーラム

報 告

- 地区の概要（現状・課題）
- 地域活性化の取組
（昭和60年代～H19）
- 新たな公 平成20年度の取組
- 新たな公 平成21年度の取組
- 平成22年度の取組

静岡県藤枝市瀬戸谷地区

- 中山間地域 市の最北部
市域の約30%(合併)
- 市の2%の人口
- 殆どをしめる山林
- 瀬戸川沿いの水田と山間の茶畑の農林業が中心
- 交通の利便性を活かして
地域活性化の取組が盛ん
(都市住民との交流)



静岡県藤枝市瀬戸谷地区



瀬戸谷地域の活性化

昭和60年代から **都市と農村の交流** をテーマに

- 農地基盤整備事業 藤の瀬会館 完成
- 活性化施設の整備（農産物加工、グラススキー場、キャンプ場、陶芸センター…）
- 温泉施設建設 公設民営

- 瀬戸谷生き生きフォーラム

発足 平成3年 現在19年目

瀬戸谷地区全戸(800戸)会員

○様々な組織と連携して地域活性化を図る

○地域や行政に向けて提言や活動を行う

生き生きフォーラム活動

8月 夏まつり



3月 藤枝マラソン



11月 せとやまるかじり

花いっぱい



地域の課題

解決されていない 地域の課題

継続する少子高齢化・農業後継者・若者の働く場所がない
産業（農林業）の振興・福祉の充実……

限界集落の発生（一部の地区 高齢化率50%以上）

空き家・耕作放棄地の顕在化

フォーラム …… 都市と農村の交流 イベント組織に ×

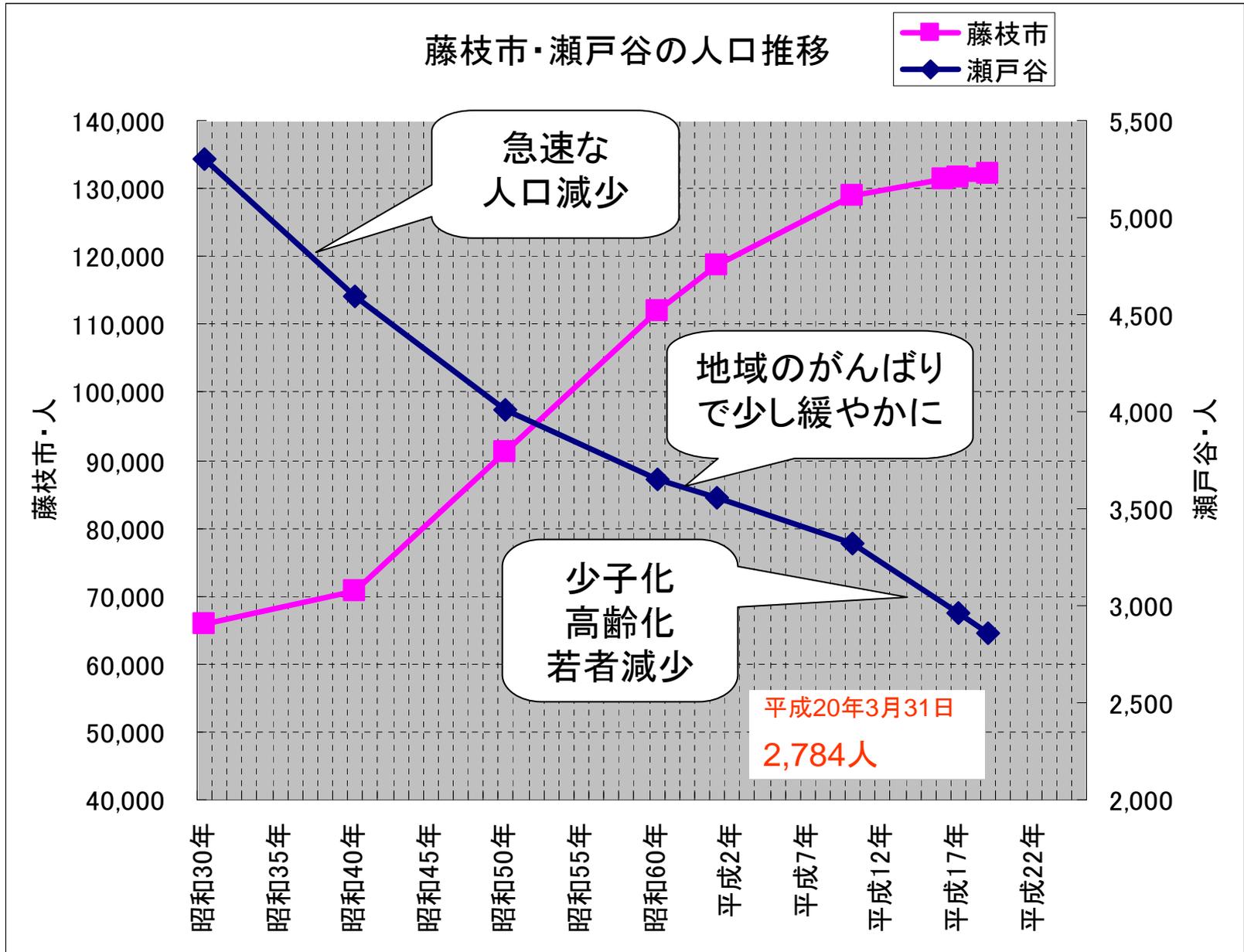
- 瀬戸谷生き生きフォーラム

H17.4 活動内容の再検討開始

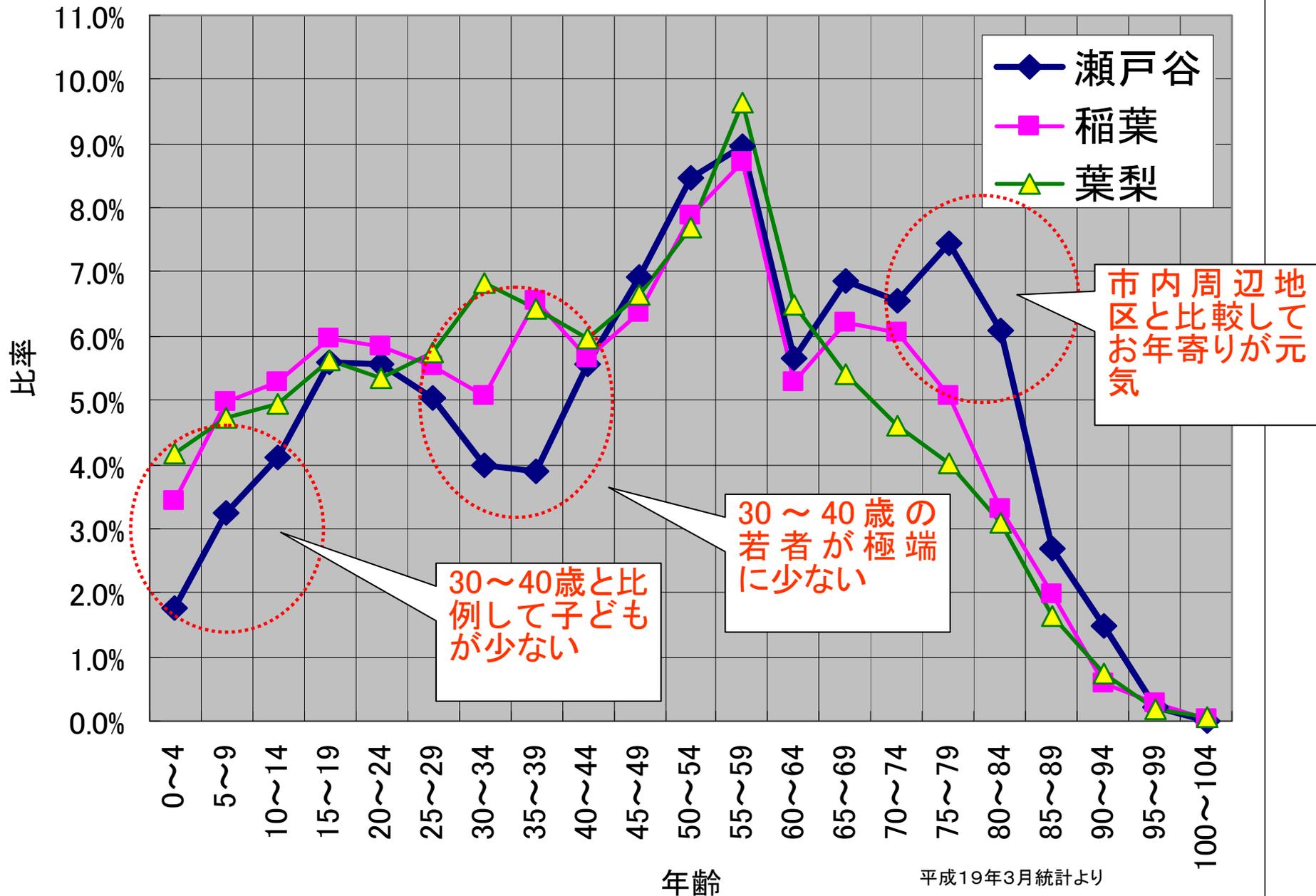
H18.1 地域づくりアンケート

課題抽出・調査

瀬戸谷の人口推移



人口比率 他地区との比較

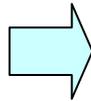


せとや未来づくり会議 第1～4回

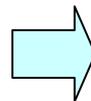
- H18.4～19.3 未来づくり会議 4回 延べ120名参加 中学生4名も参加



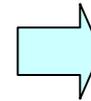
瀬戸谷
活性化
100ヶ条



テーマ
未来像



アイデア
意見
提案



進め方
優先順位
提案
とりまとめ

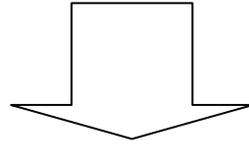
せとや未来づくり会議



「瀬戸谷のむらづくりは自分たちの手で」
「自らが考えて自らが行動する」 を基本
未来づくり提言書(活性化道しるべ)

せとや未来づくり会議

瀬戸谷の未来像



平成19年度～

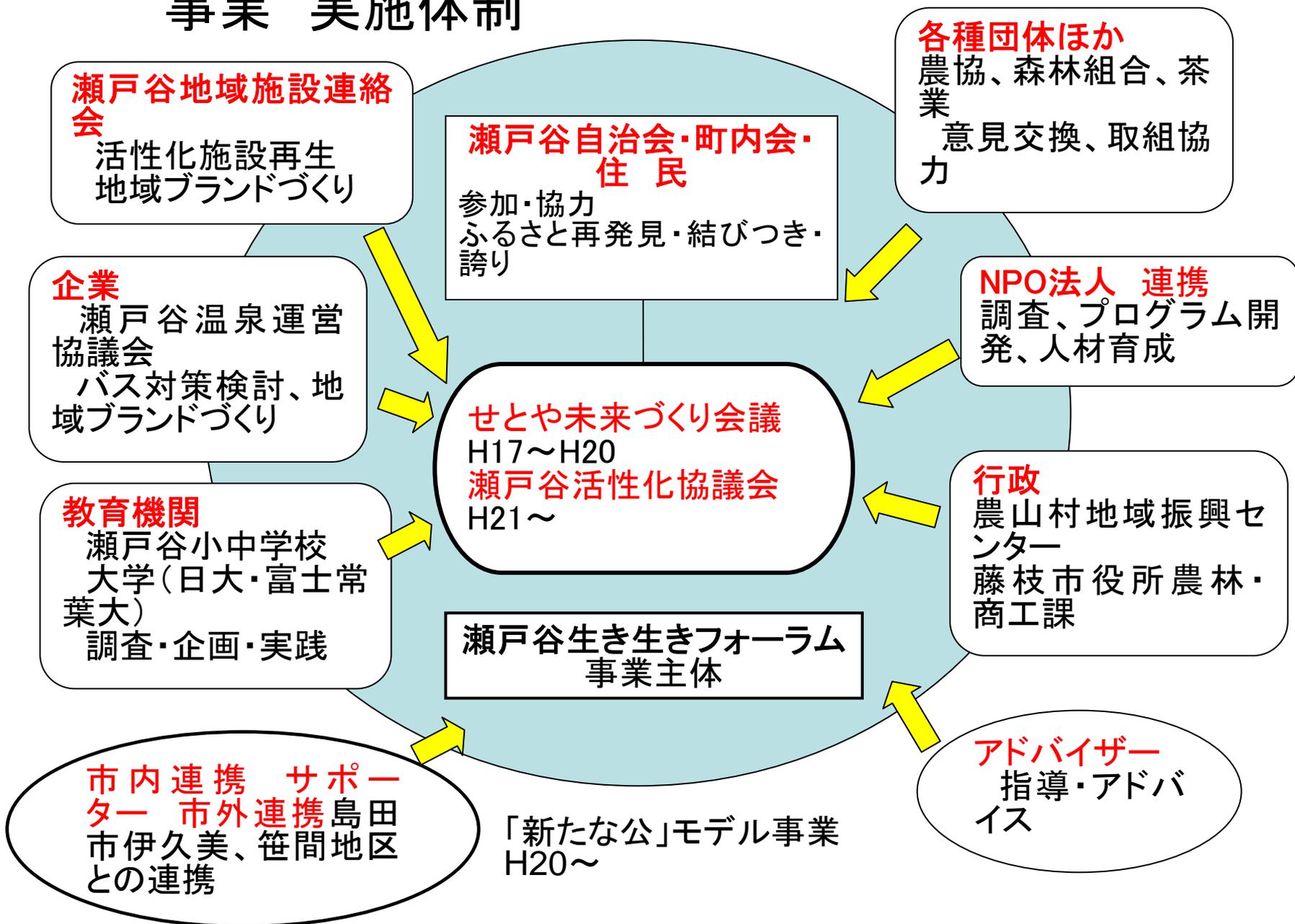
- せとや未来づくり道しるべ 作成
- 自治会各種団体への説明、協力依頼、実践活動

平成20年度～

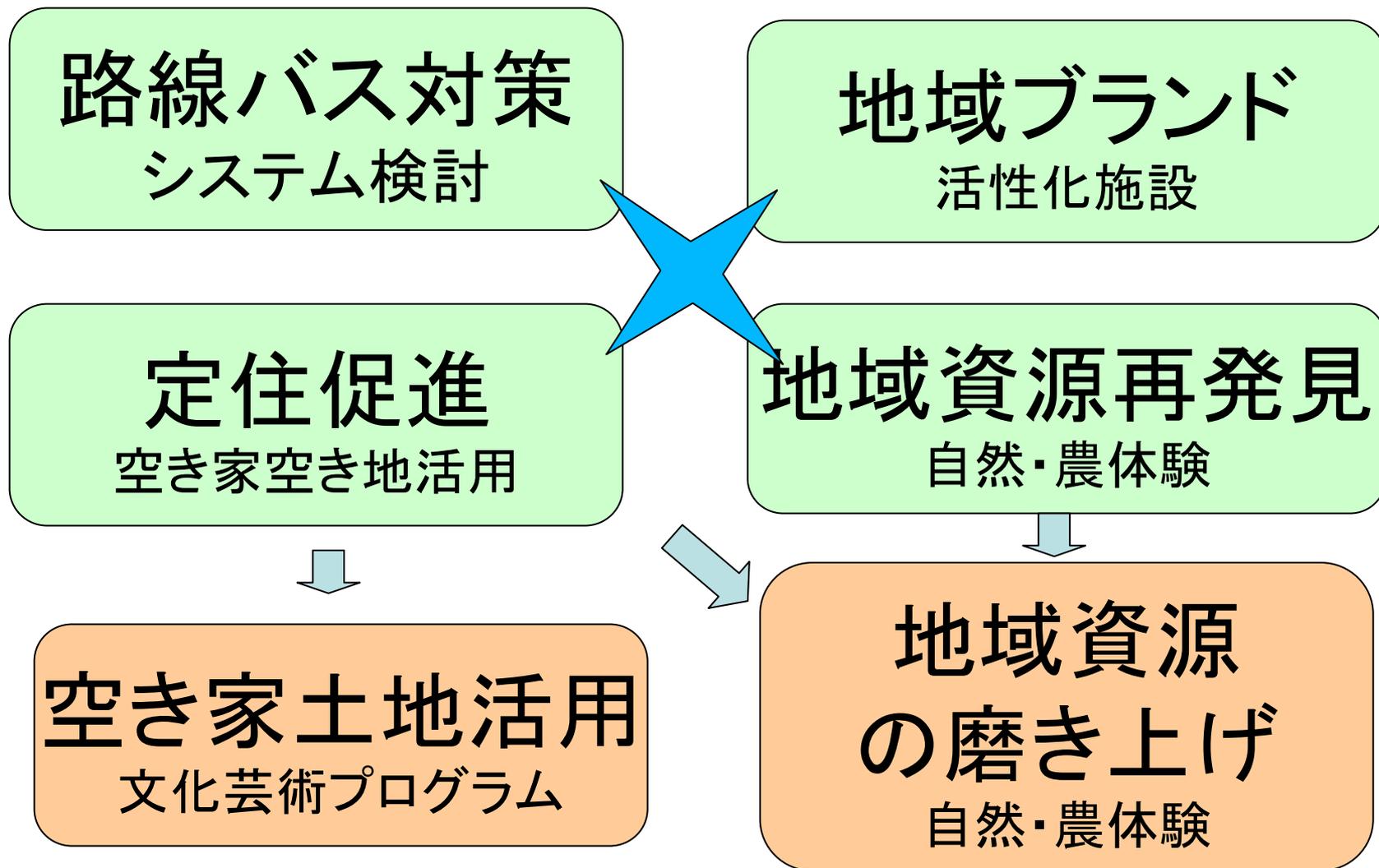
- せとや未来づくり道しるべ 実践活動
- 国交省 新たな公 モデル事業

地域の宝物を再認識 地域に誇り・愛着・熟成(磨き上げ) 郷土愛を育む

事業 実施体制



平成20年度の取組



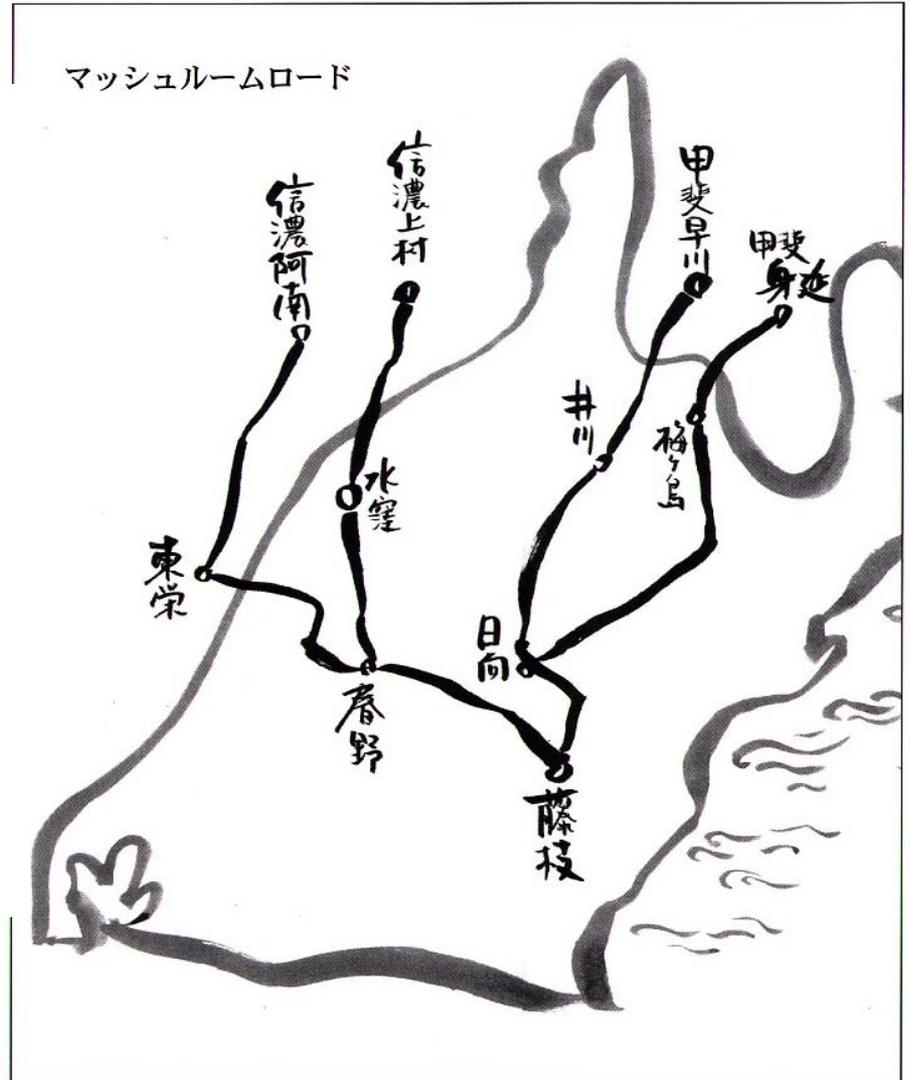
地域ブランドづくり

- アドバイザー（外部）
- 現況調査、講演会、
開発会議、意見交流
- 地域特産のシイタケ
入りコロツケ
- お茶のブランド化
新しいお茶のイメー
ジづくり



地域ブランドづくり

活性化施設課題・活動調査



椎茸

静岡県大井川上流は、江戸時代、天竜川を中心とする三遠地区（信濃・三河・遠江）と、富士川と安倍川を中心とする駿甲地区（駿河・甲斐）を合わせた広域な椎茸一大産地の中心であり、これを中心にマッシュルームロード（椎茸路）が発展しました。とくに集散地である藤枝市は現在も椎茸の流通取扱いで全国の五十%以上のシェアを占めます。

地域ブランドづくり

施設協働の取り組み・せとやコロッケ

- せとやっこ・大久保ガラススキー場・瀬戸谷温泉、陶芸センター・生き生きフォーラム

藤枝特産のしいたけ入り

- 3つの味が
楽しめます

せとやコロッケ



B級グルメ ならぬ C級グルメ コミュニティグルメ

地域ブランドづくり

- 瀬戸谷のお茶 七つの茶工場 独自
- お茶ブレンド 飲まかっしん

信頼・歴史・品質・こだわりに向けて各施設統一した戦略で

定住者増加促進

空き家・空き地情報調査

平成20年9月から



峠地区 空き家

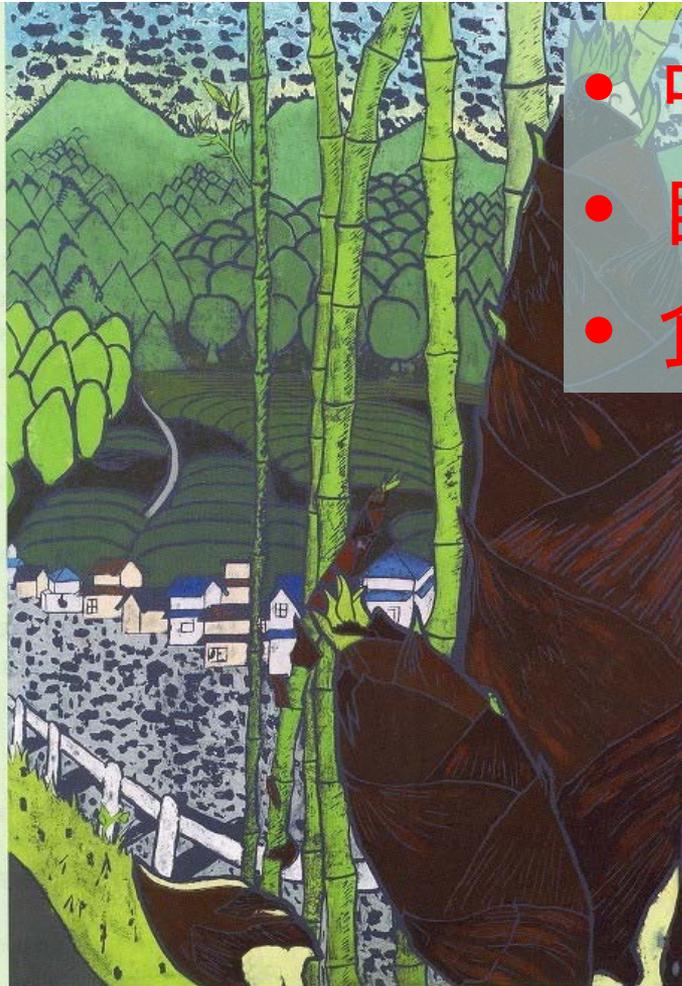
滝沢地区 空き家

舟ヶ久保地区 空き地



地域資源の再発見

- 中学生による地域の宝探し
- 自然体験・リーダー養成(学生)
- 食農体験(味噌・こんにゃくづくり)



山里の春
三年 八木富由美

瀬中の生徒が案内する

せとやの宝

観光ポット
おすすめコース



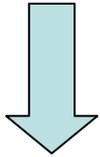
路線バス対策

- 路線バス撤退に伴う自主運行バス 検討
- ワークショップの開催
- 行政・企業・地域の協働の取組



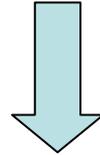
平成21年度の取組

路線バス対策
システム検討



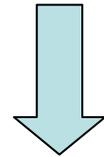
自主運行
バス
利用促進活動

地域ブランド
活性化施設



せとや
ブランド
発信と人材育成

定住促進
空き家空き地活用



まちむら
交流
情報共有・交流

まち～むら交流

- 情報共有・まちむら交流の促進
- 瀬戸谷 ←→ 瀬戸谷 住民
- 瀬戸谷 ←→ 来訪者、都会、サポーター

- 元気をつなぐ手書き掲示板
- まちむら交流センターの開設
藤の瀬会館 エントランスホール、ブース

- フォーラムたよりの発行 月1回 発行850部



茶畑の中心で音を叫ぶ



自主運行バス

- 利用促進活動

地域への広報

利用者アンケートの実施

ラッピングバザー

ガイドマップの作成



平成22年度の取組

路線バス対策
システム検討



自主運行バス
利用促進活動



利用促進
活動継続

地域ブランド
活性化施設



せとやブランド
発信と人材育成



せとやブランド
情報発信
活動継続



活動組織
強化継続
の検討

定住促進
空き家空き地活用



まちむら交流
情報共有・交流



中山間地域
活性化基本計画
づくり参画

組織検討(継続・強化)会議



- 瀬戸谷地区全世帯会員
自治会・活性化施設・地域外との連携強化
- 専門委員会の設置

せとやブランドづくり ミカンの皮とばし競技



- 昔の子供たちの遊び
- 農産物を生かした(PR)取り組み
- 駅前で情報発信



みかんどり

中学生のイベント参画



- 地域資源の再発見
農業体験→加工、販売
- 地域での居場所づくり
スタッフ参画



地区の団体が静岡県知事賞受賞



- 農地水環境保全活動
- 一社一村活動

元気なまち藤枝づくり大賞受賞



今後の取組

- 課題

定住促進 → 農地法、都市計画法、地域の熱意協力、中山間地基本計画

バス対策 → 利用促進、利便性

活動の継続 → 組織の法人化

- 展望

郷土愛の熟成、活動の広がり

活性化施設 → 若者の就労

中山間地域の活性化計画策定